

令和4年度

離島・過疎地域づくり DX 促進事業

(高齢者等の見まもり支援事業)

(実績報告書)

令和5年3月

株式会社おきでんCplusC



おきでん  
CplusC

## 目次

1	弊社概要および業務実績について.....	- 1 -
	(1) おきでん CplusC の概要と取組について.....	- 1 -
	(2) おきでん CplusC の業務実績について.....	- 2 -
2	取り組み内容.....	- 6 -
	(1) 概要.....	- 6 -
	(2) 事業にあたっての現状認識.....	- 6 -
3	実績報告.....	- 10 -
	(1) 対象世帯の募集および選定等.....	- 10 -
	(2) 対象世帯への「みまもりキット」の設置.....	- 15 -
	(3) みまもり支援体制の構築及び運用.....	- 17 -
	(4) 事業の効果を高めるための取組.....	- 19 -
	(5) アンケート調査の実施.....	- 26 -
	(6) 関係機関等との取組状況に関する連絡会議の実施.....	- 39 -
	(7) データ活用プラットフォームとの連携.....	- 41 -
4.	事業の成果.....	- 41 -
	(1) 概要.....	- 41 -
	(2) 詳細.....	- 41 -

## 1 弊社概要および業務実績について

### (1) おきでん CplusC の概要と取組について

株式会社おきでん CplusC は、沖縄電力により、ジャパンインテグレーション、インスパイア・インベストメントと共に、最先端の IT 技術を活用して安心・安全な社会を実現する生活サポート事業を展開し、豊かな暮らしづくりを目的とし、2021年5月に設立された事業会社です。

#### <会社概要>

会社名	株式会社おきでん CplusC (シープラスシー)		
設立	2021年5月13日		
所在地	沖縄県宜野湾市		
授権資本	70百万円		
出資構成	沖縄電力株式会社	71.4%	
	ジャパンインテグレーション株式会社	14.3%	
	株式会社インスパイア・インベストメント	14.3%	
役員	代表取締役社長	仲程 拓	(沖縄電力㈱ 取締役執行役員)
	取締役	高里 史郎	(沖縄電力㈱ IT推進本部IT事業Gシニア・マネージャー)
	取締役	高槻 亮輔	(㈱インスパイア・インベストメント 代表取締役社長)
	監査役	比嘉 秀樹	(沖縄電力㈱ 事業開発部新規事業開発G長)

これまで事業者等によって行われてきた高齢者の「見守り」は、カメラやマイク、ウェアラブル機器を活用して状況を把握するサービスや、緊急の際に駆けつけるサービスなどが展開されてきました。これは緻密に高齢者の状況を把握することができる反面、専用機器の設置等によるコストや、カメラ等で見られているというプライバシー面での抵抗感があることなどの課題があります。

おきでん CplusC の『やさしいみまもり』は、高齢者向けの支援を目的としたブランドです。私たちは、世界最先端の WiFi センシング技術を活用し、カメラやマイクを使用せずにプライバシーを守る仕組みを提供することで、自治体・地域関係者の負担軽減に貢献しています。

おきでん CplusC では、米国メリーランド大学発ベンチャーOriginWireless Inc. が開発した機器を採用しています。同社は、世界最先端として業界標準をリードするイノベーション企業であり、最先端テクノロジーが集まる世界最大展示会 CES でベスト・イノベーションと評されるなど、Wi-Fi センシング分野で業界をリードしている企業です。独自の AI 技術 (タイムリバーサル) を用いて、Wi-Fi 電波の反射の位相や到達時間のずれを用いて、わずか 30cm の精度で室内の人や物の動き・位置、さらに睡眠時の呼吸などを検出する「Wi-Fi センシング」を開発・提供しています。

図表 1：導入イメージ



## (2) おきでん CplusC の業務実績について

事業展開にあたり、2021年8月24日、おきでん CplusC と沖縄市、宜野湾市、豊見城市は、高齢化の進展に伴う、自治体における高齢者みまもり等の業務負担の増加や、高齢者のみまもりを行うご家族の時間的・経済的負担の増加という社会課題を解決し、いつまでも元気で笑顔に満ちた暮らしができる社会の構築を目指して、4者が緊密に連携・協力して共同実証試験の実施に向けた協定を締結し、同3自治体とともに、内閣府が実施する令和3年度沖縄振興特定事業推進費補助金にて、「ITを活用した高齢者みまもり体制構築実証事業」を実施いたしました。

当該実証事業においては、高齢者本人・高齢者の家族・自治体・関係機関に IoT や AI 等を活用して有機的につながり、高齢者の居住地を訪問せずとも遠隔地の高齢者の状態を確認でき、訪問対応が必要な状態が発生した場合には、関係者が連携して対応できる体制のあり方の検証が求められており、IoT を活用することで離れて暮らす家族等によるみまもり（自助）や、社会的に必要性が高い者への行政等（地域包括支援センター、社会福祉協議会等）によるみまもり（共助・公助）を組み合わせせた「みまもり社会体制」の構築および実証として、

- ・Wi-Fi 機器により高齢者の状態検知を行い、その結果を高齢者の家族等に通知し、その際の通知のあり方（内容・頻度・媒体等）をどのようにするのが最も適切かの検証
- ・自治体等に対しても、高齢者の状態検知の情報を定期的なレポートの形で報告（その際に、IT 活用による効果検証に加え、報告のあり方（対象機関、内容、頻度、媒体等）をどのようにするのが最も適切かを検証）を行いました。

当該実証事業においては、周知活動として、弊社および関係自治体の HP や SNS での情報発信、関係自治体の広報誌への記事掲載、沖縄タイムズやコミュニティラジオ等のメディア対応、学校等へのリーフレットの配布、自治会や老人クラブ等での計 32 回にわたる個別説明会の開催等、さまざまな手段・媒体を活用した取組を実施いたしました。こうした関係自治体と連携した周知活動や説明会開催により、当該実証事業においては、一人暮らしの高齢者を中心に合計 241 人のモニターを確保しました。

説明会においては、実際に事業で使用する機器の使い方等について、モニターとなるご本人や、そのご家族の方に、年齢とともに情報処理能力が低下することなどを体験いただくなどの工夫を行い、当該実証事業の意義等についての理解度向上を図りました。この説明会については、事業完了時のアンケート調査においても 80%を超える方から役に立った旨の回答をいただいております。

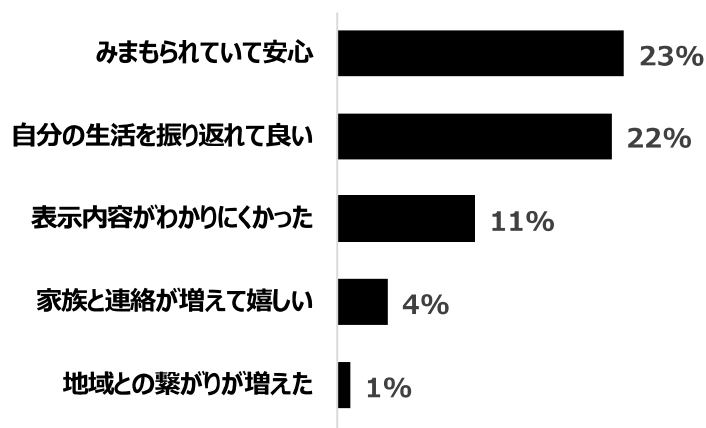
当該実証事業においては、オンラインまたは書面で申込をいただいたのちに、「みまもりキット」を高齢者宅に設置する訪問を行いました。設置訪問については事業完了時のアンケート調査にて、高齢者・そのご家族双方から、「設置工事が思ったよりすぐ終わった」「担当者が親切だった」との回答を多くいただき（それぞれ 32～43%）、「時間が長かった」「担当者が不親切だった」との回答を大きく上回る（それぞれ 1～6%）評価をいただいております。

設置後のサービスにおいても、機器等の不良や操作がわからないなどの問合せに対して電話やメール、必要に応じて訪問するなどして対応を行っており、アンケート調査では「説明がわかりやすく、助かった」との評価が約 9 割と、大変高い評価をいただいております。

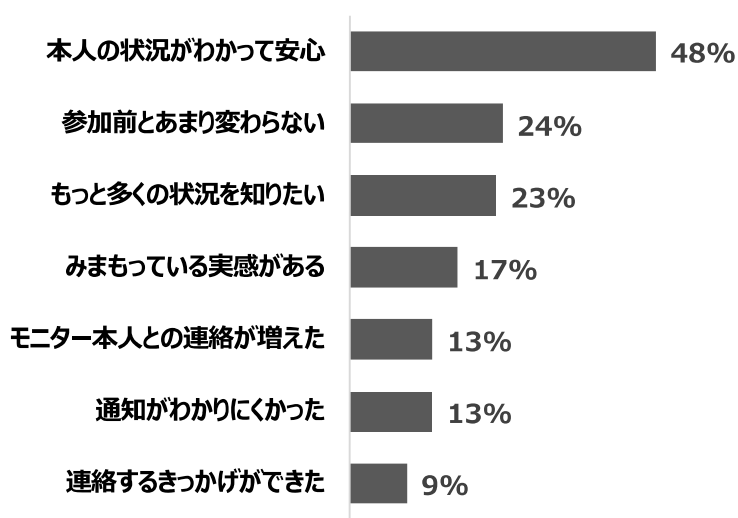
当該実証事業に対しては、モニターの方々からは、「みまもられていて安心」「自分の生活を振り返れて良い」などの評価をいただいております。また、モニターのご家族の方々からは、「本人の状況がわかって安心」との評価を多くいただいたところです。

（それぞれ、「タブレットが使いにくかった」「本人が IT に対応できていない」などの回答をいただいておりますが、当該実証事業では実証内容の一環として、モニターご本人にタブレットでの生活状況の入力をお願いしており、このことに起因する回答が相当数含まれたことがわかっております）

図表2 モニター回答：実証試験を通じての評価（有効延べ回答 202人）  
 [設問 期間中良かったこと・困ったことはありましたか？（複数回答可）]



図表3 家族等回答：実証試験を通じての評価（有効延べ回答 150人）  
 [設問 期間中良かったこと・困ったことはありましたか？（複数回答可）]

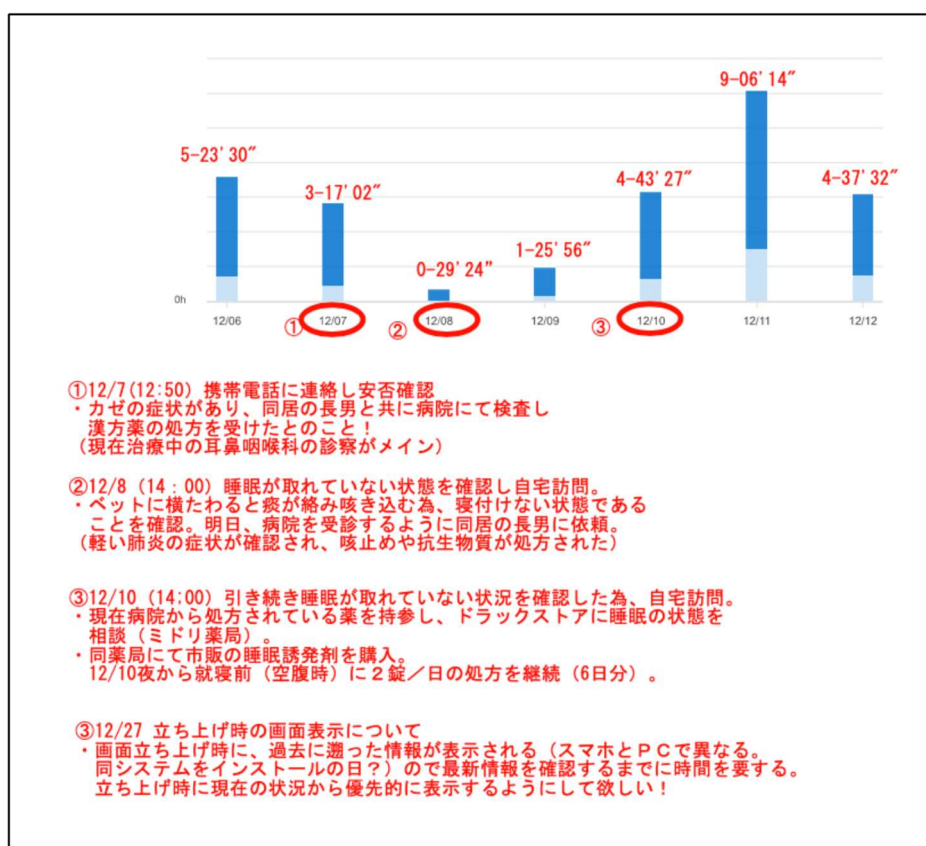


また、実証試験期間中の令和3年12月にも「緊急」時を未然に防いだ以下の事例も報告されました。

- ・ 高齢者モニターの夫は一昨年に誤嚥性の肺炎から容態が悪化して逝去しており、現在長男は別室に住んでいるものの、ほぼ独居状態である。過去の背景から、離れて暮らす家族は高齢者モニターの生活状態を気にかけており、今回の実証試験参加につながった。

- 令和3年12月、これまで平均6-8時間の睡眠をとっていた高齢者モニターの睡眠時間が著しく減っていることを離れて暮らす家族が確認し、居宅を訪問。就寝しようとしても痰が絡み咳き込むため寝つけない状態であることが判明。翌日病院を受診したところ、軽い肺炎の症状が確認され、咳止めや抗生物質が処方された。
- 病院受診の翌日になっても、引き続き睡眠がとれていないことを確認したため、ドラッグストアに睡眠の状態を相談、市販の睡眠導入剤を処方された。  
ドラッグストア訪問当日夜から睡眠が十分にとれるようになり、軽い肺炎もおさまった。高齢者モニターの夫のように肺炎から容態が悪化して最悪の事態が起きることを未然に防ぐことができた。

図表4 実証試験期間の「家族等の高齢者みまもり」事例  
(実証試験参加家族からの報告抜粋)



参加された自治体に対しては、こうしたモニターやその家族からのアンケート調査に基づく評価のほか、自治体ごとの参加人数や参加者の方の属性(性別、年齢層、参加される動機など)等を報告書として取りまとめて報告しております。

## 2 取り組み内容

### (1) 概要

「共同売店を活用した北部地区の高齢者みまもり」

今後高齢化とともに人口減少が進展し、地域の高齢者福祉の充実が危惧される北部地区において、地域コミュニティの中核および地域住民の生活インフラ拠点として共同売店が点在しています。共同売店に IT を活用したみまもりサービスをはじめとする必要な機能を集約することで、地域に根ざしたコミュニティ形成、さらには高齢者福祉の充実を図りました。

### (2) 事業にあたっての現状認識

わが国では高齢化が急速に進展し、令和元(2019)年10月の高齢化率(総人口に占める65歳以上の高齢者人口の割合)は28.4%に達しました(総務省人口推計)。今後も高齢化率は上昇を続け、令和7(2025)年には30%、令和18(2036)年には33.3%と3人に1人が高齢者となる見込みです。

これまで高齢化率が全国より低い水準にとどまってきた沖縄県でも、今後の高齢化率は全国でも最も早いペースで進行することが予測されており、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2045年には65歳以上の高齢者人口が現在の約160%になるとされています。

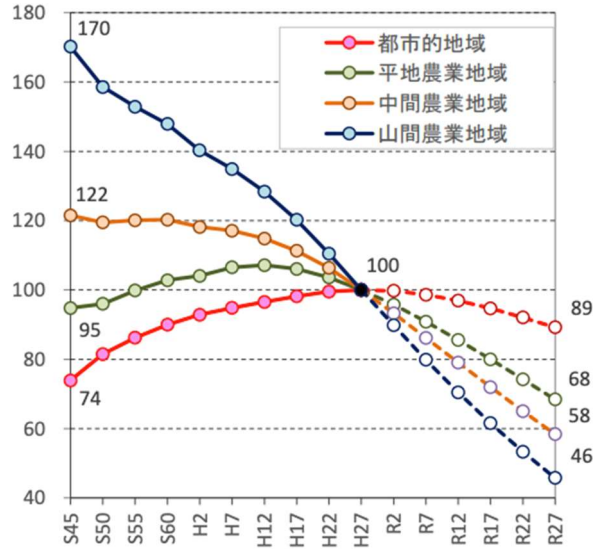
また、高齢化とともに人口減少、さらに、人口や機能の都市部への集中も進行しています。この傾向は中山間地域等に多く見られており、2021年度国土交通白書によりますと、こうした傾向によって、中山間地域等では、生活に必要なサービスの存続、ひいては地域の存続自体が困難となることが懸念されています。

さらに、農林水産政策研究所の研究によると、中山間地域においては2045年までの間に人口が半減するものと見込まれており、さらにその過半が65歳以上の高齢者になると見込まれています。なお、沖縄県北部の自治体の多くは中山間地域に該当しており、大宜味村・東村は中間地域、国頭村は山間地域に分類されています。



図表5 地域類型別の人口推移と将来予測

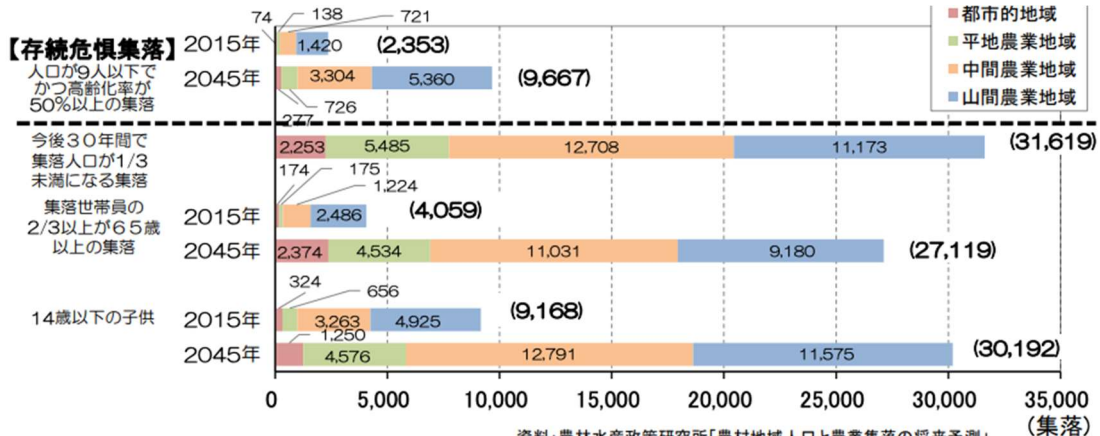
(指数: H27=100)



注1) 国勢調査の組替集計による。なお、令和2年以降(点線部分)はコーホート分析による推計値である。  
 注2) 農業地域類型は平成12年時点の市町村を基準とし、平成19年4月改定のコードを用いて集計した。

出典: 農林水産政策研究所「農村地域人口と農業集落の将来予測」(令和元年8月)

図表6 人口減少と少子・高齢化の進行による集落の変容



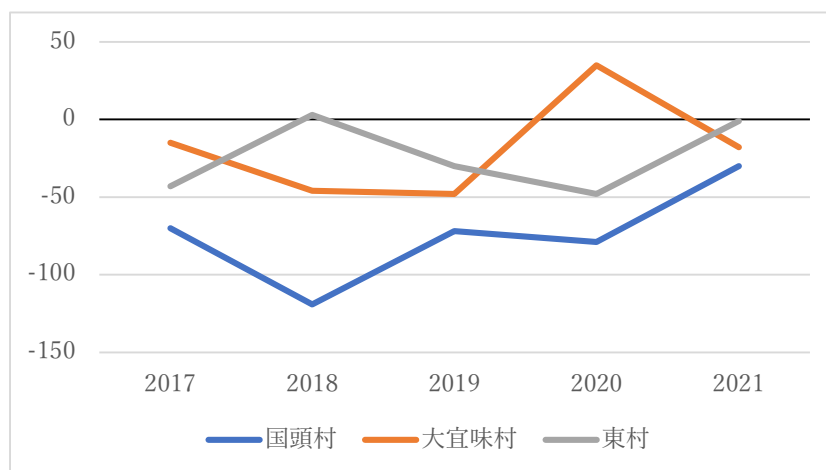
資料: 農林水産政策研究所「農村地域人口と農業集落の将来予測」(令和元年8月)  
 注: 集落ごとに行ったコーホート分析によって推計した年齢別の集落人口に基づく。

実際の人口増減についても、沖縄県が公表している市町村人口推計によると、直近5か年のデータでも、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で県外への転出が停滞した直近2年においては社会減少が抑えられているものの、長期的には自然増減、社会増減のいずれも減少トレンドが続いています。

また、国勢調査によると、国頭村・大宜味村・東村（以下「3村」という）の世帯数は図表の通りとなっており、一般世帯のうち、65歳以上の方が世帯主となっている世帯が、いずれの村でも50%程度となっています。さらには、65歳以上の方の単身世帯の数も、それぞれ全体の20%程度となっています。

人口の社会減少は他地域への転出により発生します。一般的には仕事や学業、婚姻等の理由で転居される方が多いことから、これまで親子で同居されていた場合には、子世代の転出により、高齢者の方とその子世代の方が離れて暮らすことになると考えられますが、こうした背景から3村での単身高齢者世帯数は現時点で増加傾向にあり、この傾向は今後続くものと考えられます。

図表7 3村の人口増減数の推移



図表8 3村の世帯数（令和2年国勢調査）

	国頭村	大宜味村	東村
一般世帯数	1971	1295	721
世帯主が65歳以上の世帯	960 (48.7%)	703 (54.3%)	375 (52.0%)
65歳以上の単身世帯	373 (18.9%)	290 (22.4%)	147 (20.4%)

こうした中、高齢者福祉の充実に向けては、各自治体において、社会福祉協議会や自治会等と連携し、高齢者を見守るさまざまな取組が行われています。例えば、高齢者単身世帯を自治会や地域ボランティア等が定期的に訪問したり（日常の見守り活動）、食事や保健飲料を宅配する際に住民である高齢者と接触したりすることを通じて、安否確認等が行われていますが、いずれの自治体においても、高齢者の人数に対して十分なサービス提供とはなっておりません。

また、こうした取組の多くは社会福祉協議会や自治会等によるボランティア活動により行われており、その手法も直接の訪問や電話等での安否確認に限定されてきました。また、高齢者の増加に加え、先に述べた人口減少により、こうした取組の担い手は今後一層不足し、特に都市部に比べて一層の人口減少が見込まれるほか、各世帯が分散している中山間地域等では、交通アクセスの観点からも高齢者世帯へのみまもりにかかる支援者に対する負担が増加していくことが見込まれます（なお、こうした取組を中心的に担っている民生委員は、沖縄県では全国と比較して不足している傾向にあり、その観点からもみまもりの担い手の不足が危惧されています）。

さらに、今般の新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の居宅訪問を中心とした見守り活動が実施しづらい状態がしばらく継続するものと見込まれます。

以上のことから、持続可能な高齢者福祉を実現するに当たっては、離れて暮らす家族や地域が参加して高齢者のみまもりを行う、安心・安全な新しい地域コミュニティの構築が必要となっています。

また、3村を含む本島北部地域では、共同売店が数多く運営されております。徒歩圏内の、顔の見える範囲である集落（字、小字、班）ごとに設立され、全戸（または一部）が共同で出資し運営されている共同売店は、地域住民の「ゆんたく」の場として広く活用されるなど、単なる商店としてだけでなく、集落の重要なコミュニティ機能があります。こうした機能は、近年ではコミュニティビジネスやソーシャルビジネスの原点としても再評価されており、特に、買い物弱者の問題では、全国の高齢化や過疎に悩む地域から注目が集まっており、単なる買い物の場ではなく、地域住民が集まり、互いに見守り合い、絆を育む場としての福祉的な機能の重要性も併せて指摘されています。

更には、例えば日ごろ店で見かける高齢者の買い物する姿が見えないと、店員が心配してみまもりに行くなどの取り組みも地域住民によって自発的に行われており、本島北部地域の高齢者福祉の一角をも担っていると考えています。

他方で、多くの共同売店は労働面・収益面から維持可能性が高くないことが指摘されており、新たな機能の獲得や、収益事業への事業拡大が喫緊の課題として挙げられているところ です。

### 3 実績報告

#### (1) 対象世帯の募集および選定等

3村や当該地域関係者等とも連携の上、本事業に参画する3村内の対象世帯の募集を行いました。

各村においては、自治体広報誌等で事業の紹介、対象世帯の募集を行うなど、村内全域にかかる募集活動を行うとともに、重点的に事業を実施することを想定した区域を定め、当該地域では集中的に募集活動を行いました。

※参考 自治体広報誌



**高齢者等みまもり支援事業の参加希望者を募集します**

大宜味村・国領村・東村の3村と、株式会社おきでんCplusC（代表取締役社長：仲塚祐）は、IT技術を活用した高齢者等みまもり体制の構築に向けて協定を締結し、9月30日、道の駅おきみやんぼるの森ビジターセンターで共同記者発表を行いました。

今回のみまもりでは、カメラやマイクは使わず、最先端のITテクノロジーである「Wi-Fiセンシング技術+AI」を活用します。「みまもりセンサー」等を自宅に設置することで、自宅にいる高齢者等の毎日の活動状況や睡眠の質などを観測できる家族がスマホやタブレットなどで把握することができます。インターネット環境がない家庭には、モバイルルーターも提供します。詳しい事業内容等については、下記までお問い合わせください。

【観測する項目】  
 みまもりセンサー  
 電力使用状況など  
 室内活動  
 睡眠の状況

おきでんCplusC  
 〒0120-425-065 (平日:9:00~17:00)  
 大宜味村地域包括支援センター ☎0980-44-3011

**おきでんCplusCやさしいみまもり無料体験参加者募集**

カメラやマイクを使わず、観測できるおきでんおきでんさん「やさしくみまもり」  
 おきでんCplusCが沖増町内の12世帯向けに実証試験を行っています。無料体験参加者募集期間が終了となりました。この機会にぜひ試してみませんか？

対象 大宜味村・国領村・東村・名護市・宜野座村・沖繩市・宜野湾市・浦添市・那覇市・豊見城市・南城市・八重瀬町在住の65歳以上の方

期間 2023年2月まで

申込方法 対象者ご家族にてお申込みください。(QRコードから申込できます。)

【お問い合わせ先】株式会社おきでんCplusC ☎0120-425-065 (平日:9:00~17:00)  
 大宜味村住民福祉課 ☎0980-44-3003

◎ 広報 大宜味

重点区域の選定にあたっては、沖縄県や3村とも協議の上で候補地域を選定し、当該地域の自治会長に対する訪問・事業の説明を行った上で、各自治会協力のもと、区域内で人が集まる行事の前後を活用するなどして、説明会を開催いたしました。

具体的には、国頭村では与那区を、大宜味村では喜如嘉区を、東村では川田区をそれぞれ重点区域として選定することとし、それぞれ区長に対し説明、了解を得ました。（国頭村与那区は7月26日、大宜味村喜如嘉区は8月8日、東村川田区は7月29日に各区長より大卒の同意をいただきました。）

図表9 地域関係者一覧

### 3村・地区関係者との連携状況について

2022年6月24日補助事業採択後、村役場・地区関係者との協議を経てやさしみまもり体制の基礎づくりを進捗しました。(敬称略)

 国頭村	 大宜味村	 東村
<p><b>村役場</b> 福祉課 課長 福祉課 課長補佐 福祉課 係長</p>	<p><b>村役場</b> 福祉課 課長 福祉課 福祉係長</p>	<p><b>村役場</b> 福祉保健課 課長 福祉保健課 主査</p>
<p><b>与那区</b> 区長</p>	<p><b>喜如嘉区</b> 区長</p>	<p><b>川田区</b> 区長</p>
<p><b>包括支援センター</b> 社会福祉士</p>	<p><b>包括支援センター</b> 主事</p>	<p><b>包括支援センター</b> 社会福祉士</p>
<p><b>社会福祉協議会</b> 主事 生活支援コーディネーター</p>	<p><b>社会福祉協議会</b></p>	<p><b>社会福祉協議会</b> 事務局長</p>
<p><b>民生委員</b></p>	<p><b>民生委員</b></p>	<p><b>民生委員</b></p>

図表 10 説明会開催実績

NO	日付	市町村	参加者	人数	場所
1	10月5日	国頭村	各区長	18	国頭村役場
2	10月18日	大宜味村	高齢者	7	喜如嘉公民館
3	10月24日	国頭村	高齢者	3	与那公民館
4	11月1日	大宜味村	各区長	16	大宜味村役場
5	11月2日	国頭村	高齢者	5	与那公民館
6	11月14日	国頭村	高齢者	13	辺野喜公民館
7	11月16日	国頭村	高齢者	11	伊地公民館
8	11月17日	国頭村	高齢者	5	辺戸公民館
9	11月22日	国頭村	高齢者	16	辺士名公民館
10	11月24日	国頭村	高齢者・家族	8	与那公民館
11	11月24日	国頭村	高齢者	8	佐手公民館
12	11月25日	国頭村	高齢者	6	宜名真公民館
13	11月26日	大宜味村	高齢者・家族	4	農村活性化センター
14	11月26日	国頭村	高齢者・家族	5	道の駅ゆいゆい国頭
15	11月30日	大宜味村	高齢者	12	喜如嘉公民館
16	11月30日	国頭村	高齢者	8	安波公民館
17	12月9日	国頭村	高齢者	10	与那公民館
18	1月7日	東村	高齢者	1	川田公民館
19	1月11日	東村	高齢者	0	川田公民館
20	1月12日	国頭村	高齢者	0	与那公民館
21	1月12日	大宜味村	高齢者・家族	3	喜如嘉公民館
22	1月14日	大宜味村	高齢者・家族	1	喜如嘉公民館
23	1月14日	国頭村	高齢者	0	与那公民館
24	1月18日	東村	高齢者	1	川田公民館
25	1月24日	東村	高齢者	15	川田公民館
26	2月6日	国頭村	高齢者・家族	15	与那公民館（集落会）
合計				191	

※参考 説明会の様子

10/18 喜如嘉公民館



11/2 与那公民館



11/26 道の駅説明会



募集活動としては、自治体広報誌での事業概要の紹介や参加者募集活動、SNS での情報発信（おきでん CplusC の事業について発信したのものも含まれます）、村役場や公民館、共同売店へのチラシの設置・配布、地域の関係者や地域住民向けの説明会の開催、地域イベントへのスタッフの参加を通じた周知活動、その他個別の問い合わせ対応等を行いました。

2023 年 1 月末時点での各村での取組状況は以下のとおりです。

	単位	国頭村	大宜味村	東村
自治体広報	回	2	3	1
SNS 広告（自社含む）	回	20	20	16
チラシ設置・配布	枚	40	60	35
説明会 開催回数	回	10	0	7
説明会 のべ参加人数	人	64	48	18
地域イベントへの参加	回	1	3	2
村・関係者への個別対応	回	51	63	23
地域住民への個別対応	回	80	50	10

こうした活動の結果、事業への参加申込・実施世帯数は目標の 50 世帯に到達しています。50 世帯の主な属性の内訳は以下のとおりです。

- ・性別は女性 22 名、男性 28 名となりました。
- ・居住村は、国頭村が 11 世帯、大宜味村が 19 名、東村が 20 名となりました。東村においては、自治会による積極的な事業参加・募集活動へのご協力が得られたことから、各村の単身高齢者世帯数に比して多くの事業参加者を募ることができました。
- ・年齢構成（※2022 年 12 月末日の年齢で算出）は、69 歳以下が 9 名、70 歳代が 13 名、80 歳代が 15 名、90 歳以上が 13 名となりました。各年齢層に幅広く参加者が分布する形となりましたが、各世代の人口を考えると、高齢層ほどみまもり事業のニーズが高い結果となりました。
- ・世帯構成は、一人暮らしが 40 世帯、夫婦での同居世帯が 5 世帯、子どもとの同居世帯が 4 世帯、親との同居世帯が 1 世帯となっており、当初の計画通り、単身高齢者世帯を中心とした構成となっています。
- ・各参加者の健康状態については、7 名が要介護認定者、6 名が要支援認定者であると回答いただきました。残り 37 名のうち、6 名はアンケートにて健康上の不安がある旨を回答しており、その他 31 名は「とても元気だ」と回答しています。現時点で健康不安等が顕在化していなくても、みまもり事業のニーズが存在していることがうかがえます。



## (2) 対象世帯への「みまもりキット」の設置

募集した対象世帯には、居宅内での活動状況等を把握できるよう、弊社サービスの「みまもりキット」を設置いたしました。

「みまもりキット」は、以下の機器で構成されています。

- a) みまもりセンサー…居宅内における人の活動および就寝時の呼吸情報を検知することで、居住者の生活情報を把握するためのセンサーです。現在商用として販売されている Origin-Wireless 社の Lyra Care を使用しました。
- b) タブレット端末…対象世帯内で端末本体としてのタブレット端末および付属品のカバーです。高齢者がタブレット端末を使い慣れないことを懸念する方もいる中、親しみやすいデザインで、かつ持ちやすいものを選定しました。また、使用中の破損を懸念される方もいらっしゃることから、耐ショック性の高いカバーを選定しました。
- c) L T E ルーター…対象世帯でのインターネット Wi-Fi 環境の構築のためのルーターです。

図表 11 みまもりキット一式イメージ図

## 「みまもりキット」をご提供します。

- 世界最先端のWi-Fiセンシング技術装備みまもりセンサー
- 高齢者がみずから生活行動表示を確認できるタブレット
- インターネット環境がない家庭でも安心のモバイルルーター



いつでも元気で  
笑顔に満ちた沖縄に

離れて暮らす大切なひとのことを不安に感じることがなくなり、みまもられるひとにも安心して暮らすことができるようになります。いつでも元気で笑顔が続く沖縄にお役立ちします。

### みまもりセンサー



家にかんたん設置、  
置くだけ。

手のひらサイズの「みまもりセンサー」を家の大きさに合わせて3つ以上、ボンとおうちに置くだけ。コンセントにつなげば、あっという間に新しい「みまもり」が始まります。



煩わしさがなく、  
プライバシーに配慮。

カメラやマイクを使わないため、プライバシーに配慮。身体に装着する機器など一切不要で煩わしさもありません。世界初の安心みまもりを実現する最先端テクノロジーです。

### みまもりタブレット



いつでもどこでも  
通知を確認。

24時間・365日活動・睡眠の検知状況をわかりやすくグラフで確認。クッション性の高いケースに入っており、どこにでも持ち歩くことが可能です。

### モバイルルーター



インターネット未接続の  
ご家庭も安心。

インターネットやWi-Fiが接続されていない65歳以上世帯も多いことから、本実証試験ではインターネット端末も「みまもりキット」に含めてご提供します。

※参考 みまもりキット設置の様子



図表 12 高齢者等みまもり支援イメージ図

## 高齢者等みまもり支援: かんたん、3ステップ

かんたん&スピーディ。沖縄電力グループが提供するキット・機器設置で、北部過疎地域に〈結〉つながります。



設置に関しては、弊社での設置を希望された世帯には、弊社スタッフが居宅に訪問し、機器設置を行った上で、機器の操作説明も併せて実施しました。特に80歳以上の高齢の方になると、タブレット端末の操作に不安を感じられる方も多くなることがわかっておりますので、機器設置工事の際に、弊社スタッフから実機を使った操作説明等を行い、利用者の方が安心して利用できるよう対応しました。

また、電波状況等によりうまく活動状況が検知できない場合に、機器の配置を調整することで改善が図られる場合があります。弊社スタッフが設置作業を行った世帯については、こうしたご相談に対してスムーズに対応ができるよう、工事実施時に設置状況等につ

いて施行実施書を作成し、弊社担当者内で共有しました。また、新型コロナウイルス感染症対策として、自身またはご家族みずからの設置を希望された世帯に対しては、「みまもりキット」およびその設置マニュアルを送付し、非対面にてみまもりキットの設置を行えるようにしました。

対象世帯全体では、弊社スタッフによる設置が48件（外注46件、直営2件）、ご自身またはご家族による設置が2件となりました。

### （3）みまもり支援体制の構築及び運用

上述のみまもりキットの設置により、カメラやマイク、体に装着する機器を使わずに、プライバシーに充分配慮した形で「居宅内の活動状況」及び「睡眠状況」の検知を行い、参加者本人はタブレットの確認画面において、検知した睡眠時間・活動時間が日毎に確認いただけるようにしました。また、参加者のご家族に対しては、LINEを用いて共有できるようにしました。

図表 13 LINE での家族通知画面



なお、設置後は、機器がうまく作動していない、タブレットの使い方が分かりづらい等のお問合せに対して、電話やメールにて対応を行い、必要がある場合には居宅に訪問し、機器の設置状況等の確認を行いました。

みまもり支援体制の構築については、参加者の検知内容に異変（長期間活動が確認できないなど）が生じた際に、初動対応をどのように行うかの議論・確認を行いました。具体的には、対象者のご家族や地区の関係者（区長・共同売店等）、自治体に順次連絡を行うことで、自助・共助・公助の順に優先順位を持たせて通知を行う仕組みの有用性について確認しました。

図表 14 異変（長時間活動が確認できないなど）時や、「黒信号」（孤独死放置への対応）の考え方

## 「黒信号」（孤独死放置への対応）の考え方

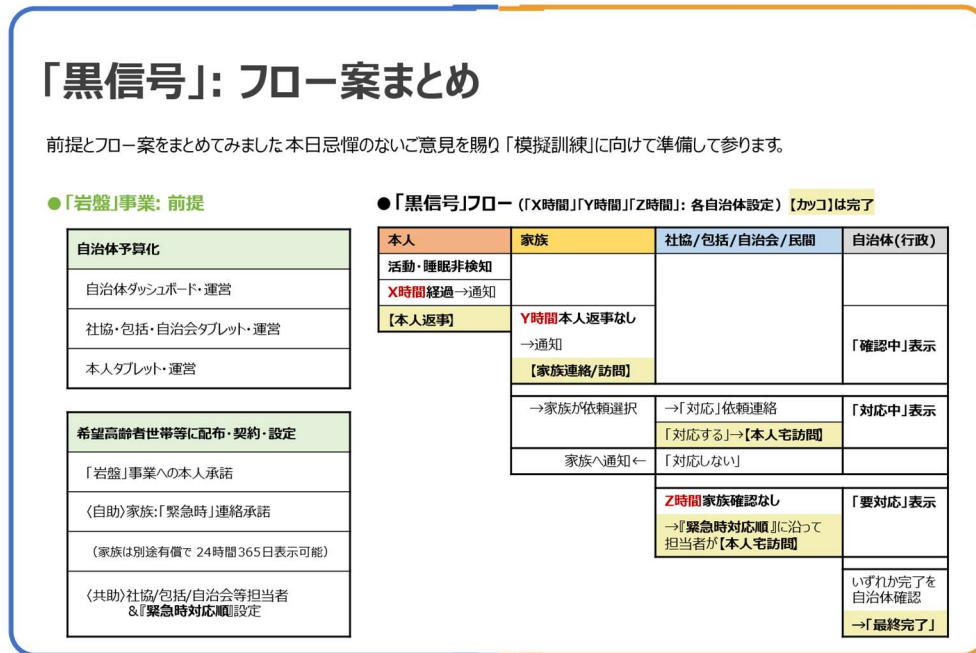
下記のような**基本方針・考え方**に基づき、各関係者向けUXのモック/プロトタイプを開発中です。  
本日の議論にて皆様のご意見を賜り改善の上で、実際の運用テスト＝「模擬訓練」を実施できれば幸いです

<b>「X時間」＝自治体設定可能</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 36時間など対象者一律に設定可能</li> <li>● 一部高齢者に別時間設定も可能</li> <li>● 自治体→社協/包括に設定委託可</li> </ul>
<b>最初に動くのは〈自助/家族〉</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● まずは本人・家族に連絡・確認</li> <li>● いきなり〈公助〉を動かさない</li> <li>● （但し当初からアラート共有＋ログ）</li> </ul>
<b>〈家族〉の選択依頼で〈共助〉等活動</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 家族が行けない場合の選択肢＝ ①社協/包括、②自治会、③民間</li> <li>● 家族返事なし時の対応を事前確認</li> </ul>
<b>〈家族〉〈共助〉等訪問後、〈公助〉</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 訪問後「緊急」確認→救急/警察</li> <li>● 訪問後「安全」確認→本件完了</li> <li>● 最終判断＝自治体</li> </ul>

(C) Okiden C plus C 2022 / Strictly Confidential

6

図表 15 「黒信号」：フロー案まとめ



(C) Okiden C plus C 2022 / Strictly Confidential

18

#### (4) 事業の効果を高めるための取組

本事業の取組においては、共同売店を中心とした既存コミュニティを活用することで、より効果的な地域のみまもり体制の構築が期待されます。地域コミュニティの活性化に向けて、以下の取組を行いました。

##### a. 「結あんしんスタッフ」の配置

共同売店の地域のコミュニティ拠点としての親しみやすさを向上させる観点で、共同売店にお困りごとを手伝う「結あんしんスタッフ」を配置しました。本事業では、試験的に大宜味村喜如嘉地区の共同売店にスタッフを配置しました（効果については、以降のアンケート調査の項目で詳報します）。

図表 16 「結あんしんスタッフ」 チラシ



図表 17 「暮らしのお手伝いメニュー」イメージ

【ご参考】暮らしのお手伝いのメニュー（例）

左記サービスはいずれも **20分500円～**  
 ※実際に要した時間でご請求

スタート記念で、500円分 無料チラシを配布予定

サービスの内容:

- 電球交換
- ゴミ出し
- お買い物代行
- お庭の掃除
- お部屋の片付け
- 病院の付き添い

サービスの対応可否はお気軽にお問い合わせ下さい。

結 YUI  
 ゆいまーるチケット  
 20分500円→無料  
 YUIMA-RU TICKET

図表 18 結暮らしのお手伝い実施件数

	国頭村	大宜味村	東村
重点地域周り	2	10	7
その他の地域	2	4	0
小計（件数）	4	14	7
合計	25		

図表 19 結暮らしのお手伝い実施内容

No	日時	内容	地域
1	11月24日	カラーボックス組み立て	大宜味村
2	11月30日	スマホ利用方法お手伝い	大宜味村
3	12月20日	不用品処分	大宜味村
4	1月10日	多肉植物の植え替え	大宜味村
5	1月30日	農作業	大宜味村
6	1月30日	照明器具の清掃	東村
7	1月30日	タブレット操作説明	東村
8	2月1日	ハンガーラック取り付け	大宜味村
9	2月1日	タブレット操作説明	大宜味村
10	2月2日	タブレット操作 (Youtube)	東村
11	2月6日	カラーボックス購入組み立て、設置	大宜味村
12	2月6日	カラーボックス購入組み立て、設置	東村
13	2月8日	お部屋の掃除	国頭村
14	2月9日	庭の手入れ	東村
15	2月14日	喜如嘉公民館 棚の移動、書類整理	大宜味村
16	2月15日	喜如嘉共同売店 清掃	大宜味村
17	2月17日	タブレット操作	大宜味村
18	2月17日	農作業	大宜味村
19	2月17日	草取り	国頭村
20	2月17日	草取り	大宜味村
21	2月26日	農作業	大宜味村
22	2月27日	庭の手入れ	東村
23	2月27日	木製扉の移動	東村
24	2月28日	庭の手入れ	国頭村
25	2月28日	庭の手入れ	国頭村

※参考 暮らしのお手伝い実施の様子



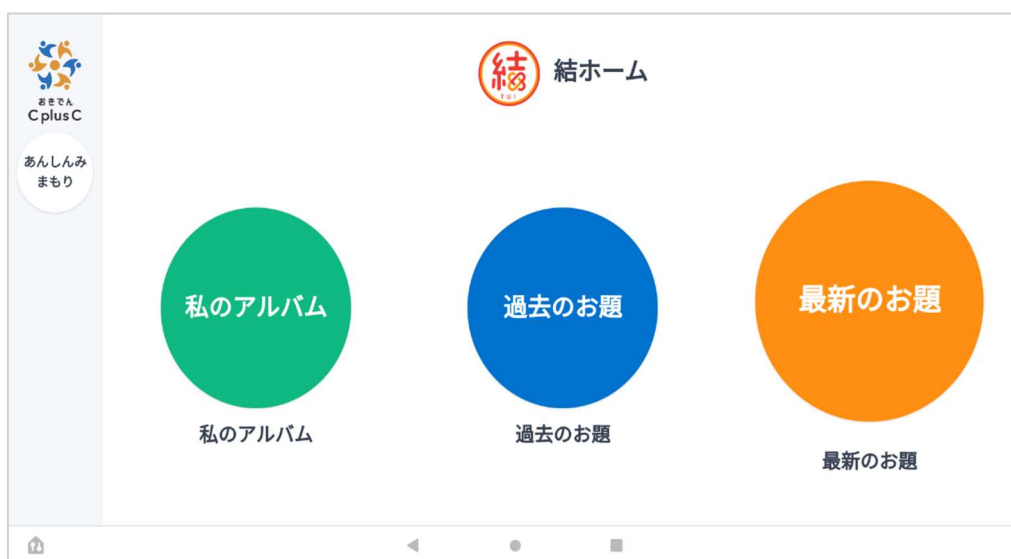


b. 「結コンテンツ」の配信

参加者が使用するタブレットに、共同売店や地域の情報が受け取れる「結コンテンツ」の運用を開始しました。同コンテンツは、画像や簡単なコメントにより、参加者が地域の情報を得られるプラットフォームとして運用しています。投稿の閲覧だけでなく、参加者自身も簡単な工程により投稿を行うことができます。

一例として、東村川田区共同売店にてお弁当入荷・販売の投稿をして、集客につなげる等の活用や、地域の活動（清掃、オオタニワタリ畑作り）を配信する等を実施しています。

図表 20 トップページ シニア向けにシンプルで見やすい設計



※参考 共同売店の商品を紹介する投稿を促すメッセージ



※参考 投稿イメージ1（東村川田区共同売店）



投稿イメージ2（一覧）



c. 共同売店におけるインターネット環境の整備

今般の高齢者みまもりのシステムを稼働させるためには、拠点となる共同売店や地域の公民館にもインターネット環境を用意する必要があったことから、整備を行いました。

整備したインターネット環境は、オンライン会議やリモートワーク、地域住民の憩いの場にも利用されるなど、地域コミュニティの活性化にも寄与しています。

※参考 公民館内リモート会議



近隣住民が公民館のWi-fiを使用している様子



#### (5) アンケート調査の実施

本事業の取組に関して、参加者・家族・地区関係者等の関係者に対してアンケート調査を実施し、効果を検証した。具体的なアンケートの内容については、事前に沖縄県と調整の上で実施しました。

##### a. 参加者に対するアンケート調査

本事業の参加世帯数が 50 世帯であることから、事業の実態の把握のためには、有効回答数を極力大きくすることが望ましいことを踏まえ、対面形式でのアンケート調査を実施しました。

図表 21 アンケート設問【参加住民の方】

令和5年2月実施

**令和4年度沖縄県離島・過疎地域づくりDX促進事業（高齢者等のみまもり支援事業）  
アンケート調査【参加住民の方】**

このたびは、「高齢者等のみまもり支援事業」にご参加いただき、ありがとうございます。  
参加中の体験についてお聞かせいただければ幸いです。  
いただいたご意見は、今後の改善に生かして参ります。

**Q1 参加を決めたポイントは何ですか？**（該当項目全てに○をつけてください）

<input type="checkbox"/> 沖縄県・自治体への信頼	<input type="checkbox"/> 知人・友人からの推薦
<input type="checkbox"/> 沖縄電力グループへの信頼	<input type="checkbox"/> 自分の健康が不安だったから
<input type="checkbox"/> 区長・民生委員等からの推薦	<input type="checkbox"/> 地域の取組に参加したいから
<input type="checkbox"/> 家族からの推薦	<input type="checkbox"/> その他

**Q2 期間中良かったこと・困ったことはありましたか？**（該当項目全てに○をつけてください）

<input type="checkbox"/> みまもられていて安心	<input type="checkbox"/> 導入の手間が少ない
<input type="checkbox"/> 自分の生活がふり返れてよい	<input type="checkbox"/> 地域住民との関わりあいが増えた
<input type="checkbox"/> 家族と連絡が増えて嬉しい	<input type="checkbox"/> 端末の表示がわかりにくかった
<input type="checkbox"/> 共同売店・区等との コミュニケーションが増えた	<input type="checkbox"/> 端末の操作が上手くできなかった
	<input type="checkbox"/> 不安が増えた

例 睡眠・活動時間を確認することで  
逆に不安になった 等

**Q3 次年度も継続して利用したいですか？**（該当項目に○をつけてください）

<input type="checkbox"/> 有料でも継続利用したい	<input type="checkbox"/> 検討中
<input type="checkbox"/> 無料なら継続利用したい	<input type="checkbox"/> 利用したくない

**Q4 みまもりサービスを利用しての満足度を教えてください。**

<input type="checkbox"/> 大変満足	<input type="checkbox"/> 満足
<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 不満

**Q5 そのほか感じたこと・今後の改善点などあれば、自由に記入ください。**

(表面から続きます)

Q6【大宜味村喜如嘉エリアの方】結あんしんスタッフについての感想を教えてください。  
(該当項目全てに○をつけてください)

- |                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 手伝ってもらって満足   | <input type="checkbox"/> 共同売店の活気につながる   |
| <input type="checkbox"/> いつか利用してみたい   | <input type="checkbox"/> 今後特に利用したいと思わない |
| <input type="checkbox"/> 何でも相談できそうで安心 | <input type="checkbox"/> 知らなかった         |

Q7 最後にあなた自身について教えてください(該当項目に○をつけてください)

居住地 [ 国頭村 ・ 大宜味村 ・ 東村 ]

年代 [ 60歳代 ・ 70歳代 ・ 80歳代 ・ 90歳以上 ]

性別 [ 男 ・ 女 ]

お名前 (任意) \_\_\_\_\_

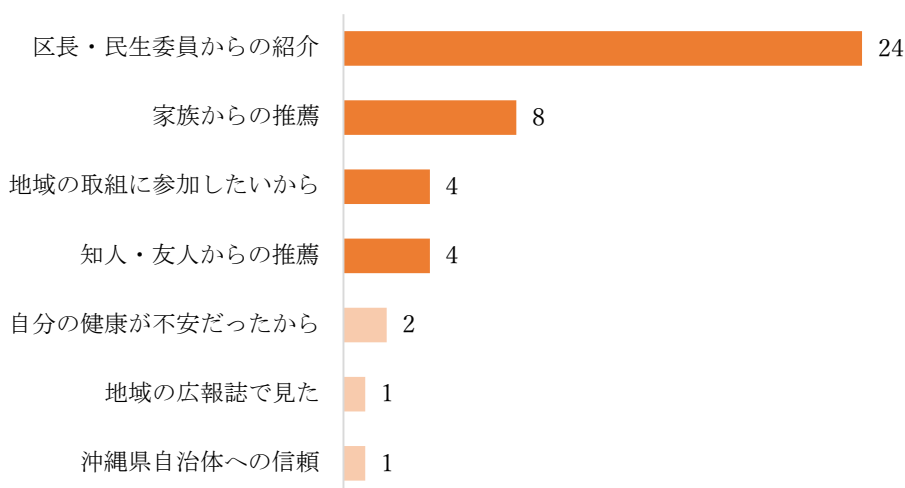
ご回答おつかれさまでした。  
貴重なご意見をありがとうございました。

アンケート調査の主な結果については、以下の通りとなりました。（回答数：40件）

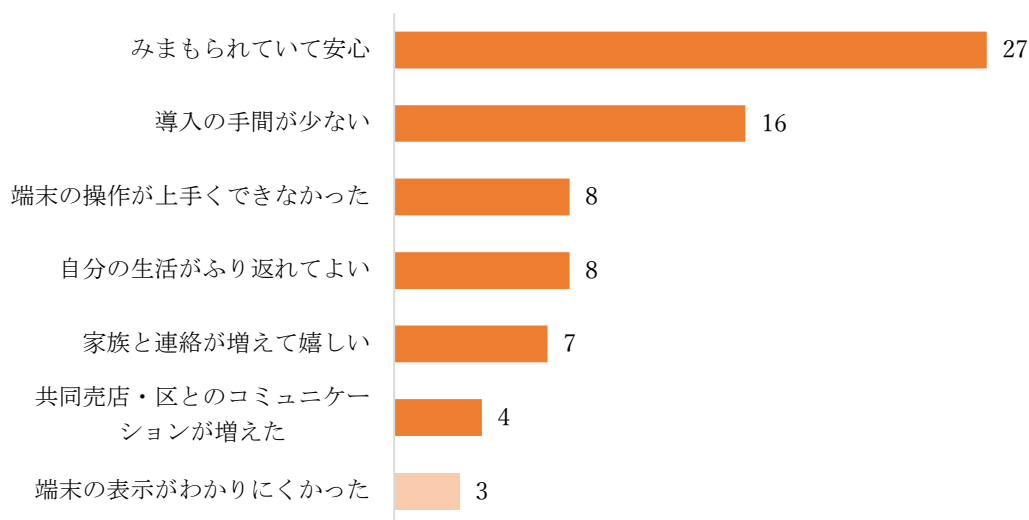
・参加を決めたポイントとしては、回答者の過半数が「区長・民生委員等からの推薦」と回答しました。重点区域の自治会等からの積極的な参画がいただけたこと、家族が離れて暮らすことが多い北部3村においては、地域からの推薦の重要性が高いことがうかがえます。

・期間中良かったこと・困ったこととして、回答者の過半数から「みまもられていて安心」との回答がありました。このほか、「導入の手間が少ない」「生活が振り返れた」「家族との連絡が増えた」など、弊社サービスの目指すことが実現されていたと考えられます。なお、端末の操作が上手くできなかつたとの回答が一定数あることから、今後の改善対応が必要であると考えられます。

#### Q1 参加を決めたポイントは何ですか？



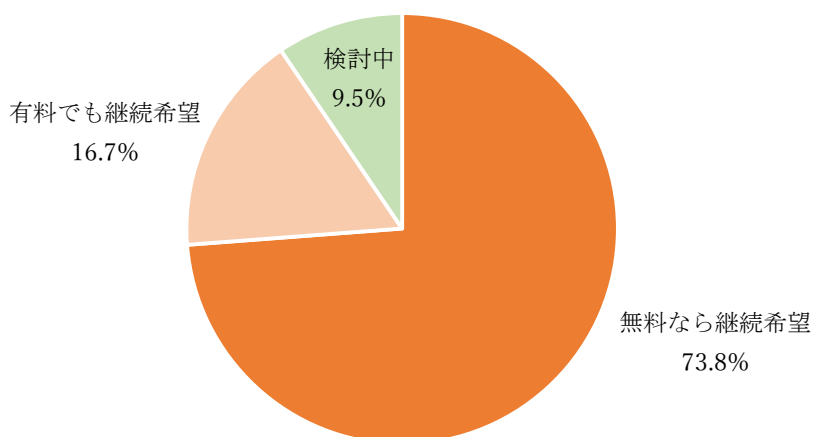
#### Q2 期間中良かったこと・困ったことはありましたか？



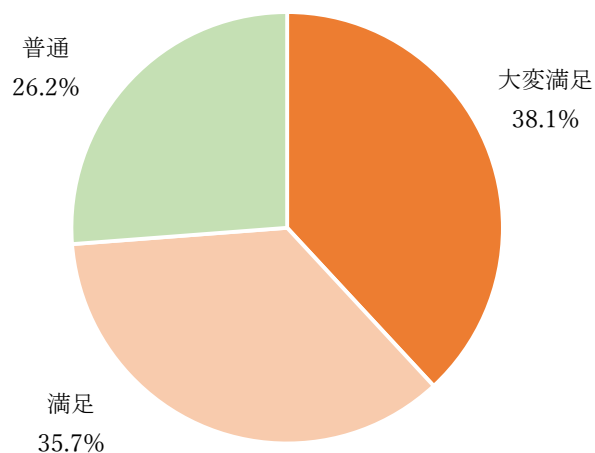
・次年度も継続して利用したいかとの質問に対しては、回答者の9割が継続を希望する回答となりました。全体の2割弱からは「有料でも継続希望」との回答をいただいております、本事業の取組の効果が十分にあったことがうかがえます。

・みまもりサービスの取組への満足度についての質問では、「大変満足」「満足」が7割強を占める結果となりました。「不満」と回答した方がいなかったことと併せて、前問同様、事業の取組の効果が十分にあったことがうかがえます。

Q3 次年度も継続して利用したいですか？



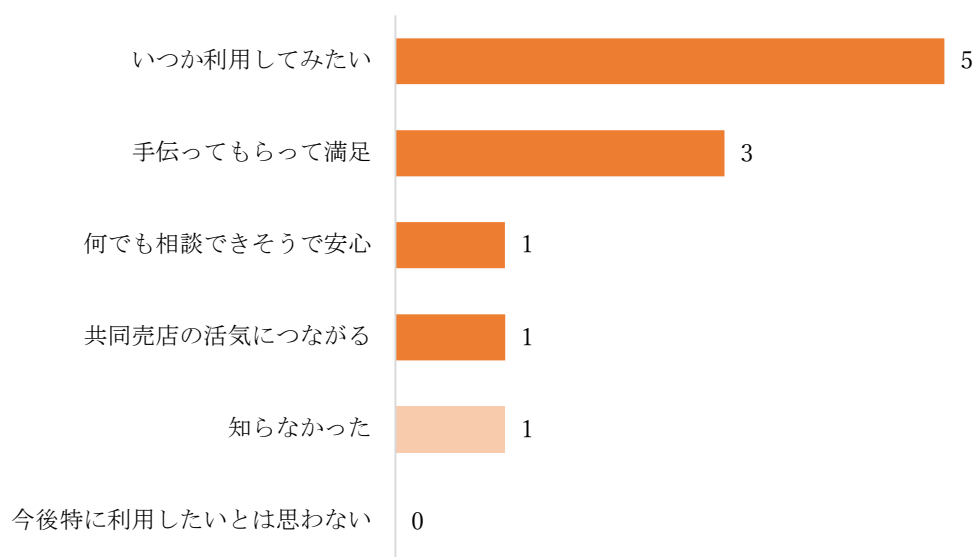
Q4 みまもりサービスの取組に対する満足度を教えてください





- ・その他、自由記載にて、「自分の体調が見られてよい。緊急時に知らせるものがあれば良い」「グラフがきれいにとれない時は不安だが、きれいにとれるようになると安心です」「家族が週一で来るけれど、それ以外でも連絡が密になった」などの声をいただいております。
- ・また、結あんしんスタッフを配置した大宜味村喜如嘉地区のみ、結あんしんスタッフへの感想を質問したところ、全員が「いつか利用してみたい」もしくは「手伝ってもらって満足」との回答結果となりました。「なんでも相談できて安心」「共同売店の活気につながる」の声もあり、「利用したくない」との意見は出ませんでした。取組に対する地域住民の期待や、コミュニティ活性化への寄与の期待を反映した結果となっています。

Q6 結あんしんスタッフについての感想を教えてください



b. 地域の関係者に対するアンケート調査

北部3村それぞれの自治体・区長・区関係者・社協・包括・民生委員・共同売店など、本事業に地域の関係者として参加いただいた方々に対してアンケート調査を行い、18件の回答を得ました。

図表 22 アンケート設問【地域の関係者様】

令和5年2月実施

**令和4年度沖縄県離島・過疎地域づくりDX促進事業（高齢者等のみまもり支援事業）  
アンケート調査 【地域の関係者様】**

このたびは、「高齢者等のみまもり支援事業」への様々なお協力をありがとうございました。  
2月末の県事業報告書作成に向けて、下記アンケート調査にご協力ください。  
いただいたご意見は、今後の改善に生かして参ります。

**Q1 今回の事業へのご協力の背景は何ですか？（該当項目全てに○をつけてください）**

- 地域における高齢者とのコミュニケーションが薄れてきた
- 地域における急速な高齢化への不安
- 地域における単身高齢世帯の増加
- 地域で暮らす高齢者に対する不安
- 地域で暮らす高齢者の孤独死
- 高齢者みまもり等の業務負担増加
- 地域で暮らす高齢者・家族からの不安の声

**Q2 地域における「高齢者みまもり」の現状を教えてください（該当項目全てに○をつけてください）**

- 良好にできている
- 高齢者対応において、必要な世帯をカバーできていない
- 「高齢者みまもり」に対する業務・人的負担が多い
- 「高齢者みまもり」を担う人的リソースが不足している
- 「高齢者みまもり」の負担が一部に集中している
- 「高齢者みまもり」取組の効率化が進んでいない
- 孤独死などへの対応が不十分
- 地域で暮らす高齢者・家族から問い合わせ・不安の声がある

**Q3 期間中の状況について感想をお聞かせください（該当項目全てに○をつけてください）**

<input type="checkbox"/> 事業運営は良好	<input type="checkbox"/> 導入の手間が少ない
<input type="checkbox"/> 高齢者から「安心した」の声	<input type="checkbox"/> 地域住民との関わりあいが増えた
<input type="checkbox"/> 家族から「安心した」の声	<input type="checkbox"/> 端末の表示がわかりにくかった
<input type="checkbox"/> 地域の高齢者とのコミュニケーションが増えた	<input type="checkbox"/> 端末の操作が上手くできなかった
	<input type="checkbox"/> 不安が増えた

例 睡眠・活動時間を確認することで  
逆に不安になった 等

（裏面に続きます）

(表面から続きます)

Q4 来年度以降の高齢者みまもりにどう取り組んでいきたいと思いますか。

(該当項目全てに○をつけてください)

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 設置数を増やしたい          | <input type="checkbox"/> 社協/包括の関わりを増やしてほしい                               |
| <input type="checkbox"/> 現状規模の設置数で継続したい     | <input type="checkbox"/> 高齢者とのつながり(結)<br>(みまもり活動にかかわらず、<br>コミュニケーションの増加) |
| <input type="checkbox"/> 地域の「安心」を高めたい       | <input type="checkbox"/> 地区関係者の連携強化を図る<br>(情報共有の仕組みによるDX化等)              |
| <input type="checkbox"/> 自治体の関わりを増やしてほしい    | <input type="checkbox"/> 住民の高齢者福祉への意識醸成                                  |
| <input type="checkbox"/> 区/共同売店の関わりを増やしてほしい | <input type="checkbox"/> 他の地域にも同取組を紹介したい                                 |

Q5 みまもりサービスの取り組みに対する満足度を教えてください。

- |                               |                             |
|-------------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 大変満足 | <input type="checkbox"/> 満足 |
| <input type="checkbox"/> 普通   | <input type="checkbox"/> 不満 |

Q6 そのほか感じたこと・改善点などあれば、自由に記入ください。


Q7 最後にご回答者について教えてください(該当項目に○をつけてください)

村名 [ 国頭村 ・ 大宜味村 ・ 東村 ]

ご所属 [ 自治体 ・ 区/共同売店 ・ 社協/包括 ・ その他 ]

ご担当者名

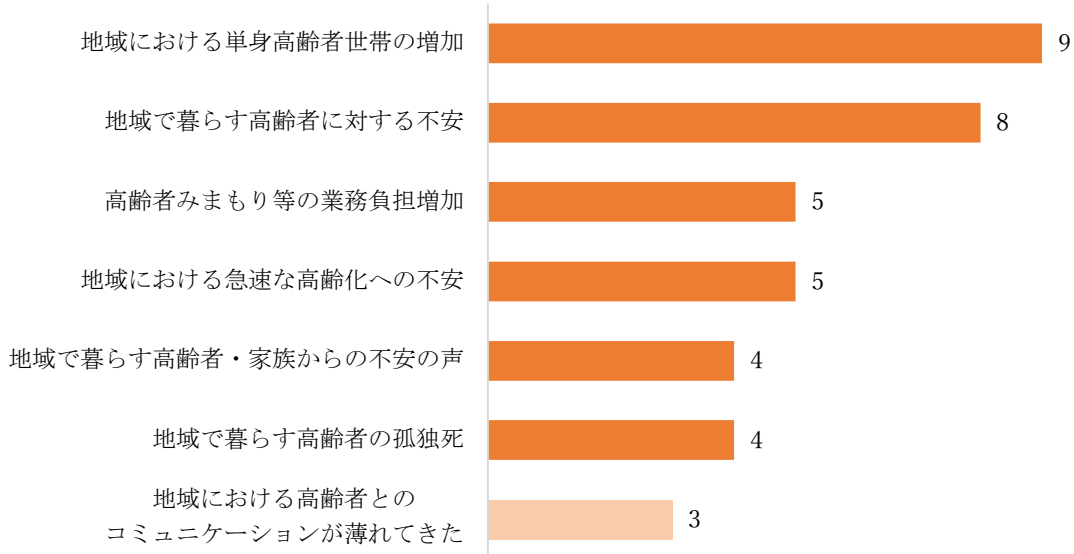
\_\_\_\_\_

ご回答おつかれさまでした。  
貴重なご意見をありがとうございました。

アンケート調査の主な結果については、以下の通りとなりました。

- 当事業への協力の背景については、「単身高齢者世帯の増加」「地域で暮らす高齢者に対する不安」と回答する方が多く、こうした点に対して地域の関係者が不安を感じていることがわかる結果となりました。次いで「高齢化への不安」「業務負担増加」「孤独死」「地域住民からの不安の声」との回答も、一定数みられました。
- 地域における高齢者みまもりの現状については、「人的リソース不足」と回答した方が全体の6割強と最大となりました。これに関連して、「取組の効率化」の必要性を求める意見も多く見られ、現状のみまもり活動の手法を続ける場合には、人的リソースに大きな懸念を感じている関係者が多いことが明らかとなりました。このほか、「必要世帯をカバーできていない」「負担の一部集中」などの項目にも、一定数の回答がありました。

Q1 今回の事業へのご協力の背景は何ですか？



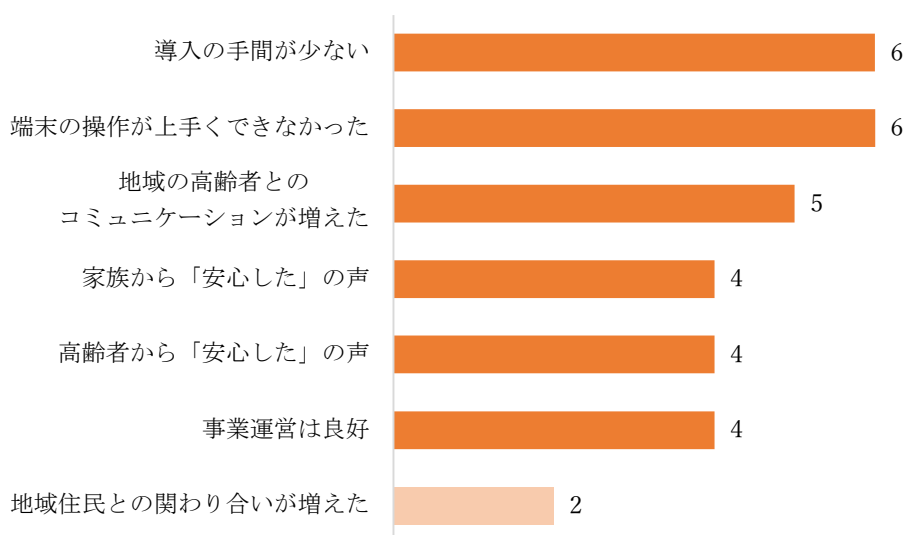
Q2 地域における「高齢者みまもり」の現状を教えてください



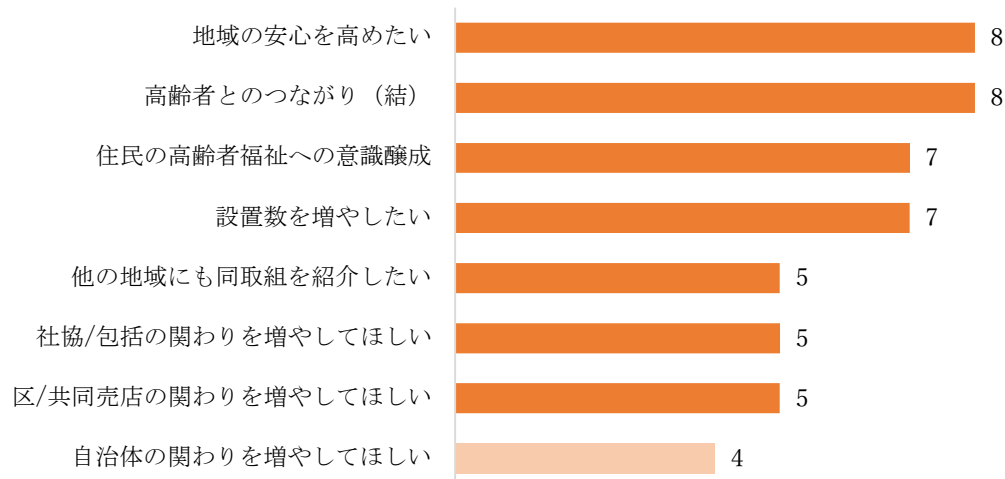
・期間中の状況については、「導入の手間が少ない」「地域の高齢者とのコミュニケーションが増えた」「高齢者や家族から安心したの声」との回答が多く見られました。導入の手間や高齢者・家族の安心は参加者の回答とも合致する点と言えます。また、本事業の取組を通じて関係者と地域高齢者等とのコミュニケーションが増えている点も、本事業の成果の一つと言えます。他方で、「端末の操作が上手くできなかった」との回答も多く見られており、みまもる側の操作性についても、今後の改善対応が必要と考えられます。

・来年度以降の高齢者みまもり活動の方向性については、「地域の安心を高めたい」「高齢者とのつながり（結）」「意識醸成」「区/共同売店/社協/包括の関わりを増やしてほしい」などの回答が多く、地域が一体となって取り組んでいきたいという思いが各関係者から示された結果となりました。

### Q3 期間中の状況についてお聞かせください



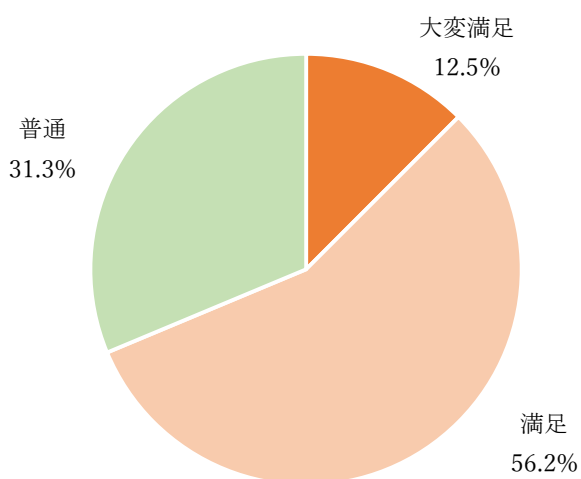
### Q4 来年度以降の高齢者みまもりにどう取り組んでいきたいと思いますか



・本事業のみまもりサービスに対する満足度については、「大変満足」が回答者の1割、「満足」が5割、あわせて満足度7割弱となりました。「不満」と回答した方は、参加者へのアンケートと同様、みられませんでした。

その他、自由記載にて、「ツールや仕組みを整備していくことも大事ですが、それをどのように村民と共有しているかが重要かなと思いました。」「他の地域の見守り体制が気になる」など、村民や他の地域との情報共有について関心の声をいただいております。また、「緊急対応にコールセンター設置や警備会社との連携等緊急対策の仕組みの提案をしてほしい。」「緊急時の対応について、第1報は家族となっているが、遠方にいる家族が迅速に対応できるとは考えにくい。」など、緊急時対応への関心の声もいただきました。

Q5 みまもりサービスの取組に対する満足度を教えてください





(6) 関係機関等との取組状況に関する連絡会議の実施

県、3村、地区関係者等を交えて取組状況等を共有する連絡会議を、事業開始時および事業実施において状況を共有・議論の必要がある際に開催しました（全4回開催）。

実施連絡会議は、県・全3村（各村の地区関係者はオブザーバー）各村の取組状況を共有し、優良活用事例等の横展開を図る全体会議と、県・個別の村・当該村の地区関係者で構成され、個別のエリアでの取組状況の報告、地域ごとの実態に応じた対応を協議する個別村会議の2部構成として運用しました。

図表 23 連絡会議について

## 本事業概要と〈連絡会議〉について

沖縄県「令和4年度離島・過疎地域づくりDX促進事業(高齢者等の見まもり支援事業)」事業実施要領

### 事業 実施概要

1. 国頭村、大宜味村、東村（「3村」）を対象地域として事業を実施
2. 村役場、社会福祉協議会、各地域の自治会等と連携し、高齢者等の《みまもり体制の構築》につながる取り組みを実施する。

### 事業 実施骨子

1. 3村や地域関係者等とも連携し、本事業に参画する独居高齢者等の募集を行います。
2. デジタル技術を生かした「みまもりセンサー」を活用し、データを収集・活用します。
3. 《みまもり支援体制》を構築・運用します。
4. 県・3村・地区関係者等を交えて、取組状況等を共有する〈連絡会議〉を開催します。
5. 対象者・家族・地区関係者等にアンケート調査を実施し、効果を検証します。

※参考 連絡会議の様子



1/26 第3回連絡会議（東村）



1/26 第3回連絡会議（国頭村）



1/27 第3回連絡会議（大宜味村）



#### (7) データ活用プラットフォームとの連携

本事業で蓄積されるデータについて、データ提供の方法等について確認の上で、プライバシー等に配慮した上で、県において基盤構築を進めているデータ活用プラットフォームの基盤整備を進めている沖縄県に提供する準備を行いました。

### 4. 事業の成果

#### (1) 概要

3村の高齢者単身世帯を中心とする計50世帯にみまもりキットを設置し、居住者の在宅時の活動状況をご家族・地域のみまもり関係者が把握できるようになりました。参加者・地域の関係者アンケートでも約7割が満足以上の評価をするなど、地域のみまもり体制構築に寄与しており、本事業のKPI（ICT等を利用したみまもりを実施する世帯数KPI：50世帯以上。サービス利用の満足度KPI：60%以上。）を達成しました。

このほか、地域の既存コミュニティである共同売店を活用する施策の展開等を併せて実施することで、地域のみまもり体制の一層の強化に寄与しました。

#### (2) 詳細

自治体広報誌での事業概要の紹介や参加者募集活動、SNSでの情報発信、村役場や公民館、共同売店へのチラシの設置・配布、地域の関係者や地域住民向けの説明会の開催、地域イベントへのスタッフの参加を通じた周知活動、その他個別の問い合わせ対応等を行い、ICT等を利用したみまもりを実施する世帯数KPI：50世帯以上を達成しました。

実施したアンケート調査によると、みまもりサービスの取組への満足度についての質問では、「大変満足」「満足」が7割強を占める結果となっており、サービス利用の満足度KPI：60%以上を達成しています。「不満」と回答した方がいなかったことと併せて、事業の取組の効果が十分にあったことがうかがえます。

地域の関係者からは、「導入の手間が少ない」「地域の高齢者とのコミュニケーションが増えた」「高齢者や家族から安心したの声」との回答が多く見られました。また、本事業の取組を通じて関係者と地域高齢者等とのコミュニケーションが増えている点も、本事業の成果の一つと言えます。本事業のみまもりサービスに対する満足度については、「大変満足」が回答者の1割、「満足」が5割、あわせて満足度7割弱となり、サービス利用の満足度KPI：60%以上を達成しています。なお、「不満」と回答した方は、参加者へのアンケートと同様、みられませんでした。

以上